

**水産物の産地水揚量・卸売価格、輸出入  
及び家計消費の月別動向について(月報)**  
**(平成21年2月)**

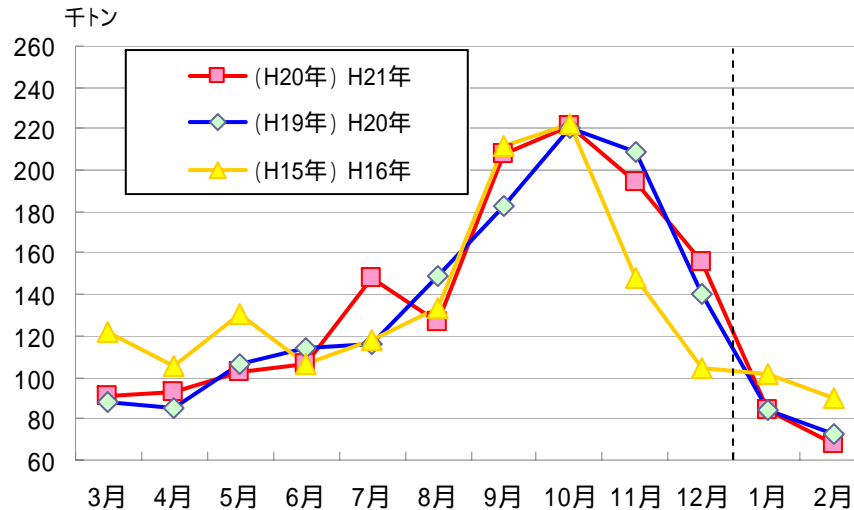
**平成21年4月**  
**水産庁漁政部企画課**

# 1 産地水揚量の動向

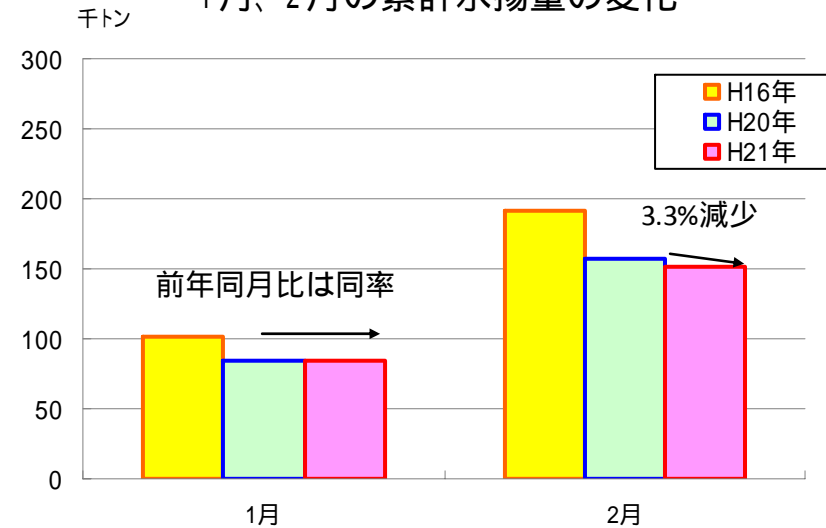
平成21年2月の水産物産地水揚量は67千トで、前年同月と比べ7.2%減少した。これは、さば類(37.0%増)、冷凍かつお(25.4%増)等の水揚量が増加した以上に、ほっけ(53.3%減)、かたくちいわし(26.4%減)等の水揚量が減少したためである。

また、平成21年の水産物の累計産地水揚量は2月までで152千トで、前年同月と比べ3.3%減少した。前年同月と比べ累計水揚量が少ないのは、累月ベースでさば類(47.8%増)等の水揚量が増加しているものの、ほっけ(40.0%減)、かたくちいわし(27.0%減)等で大幅に減少したためである。

産地水揚量の推移(単月ベース)



1月、2月の累計水揚量の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21累計
水揚量	数量(千トン)	1,603	84	67	152
	前年同月比	-2.8%	0.0%	-7.2%	-3.3%
	H16年同月比	-1.7%	-17.1%	-25.5%	-21.0%

出典:農林水産省「産地水産物流通統計」

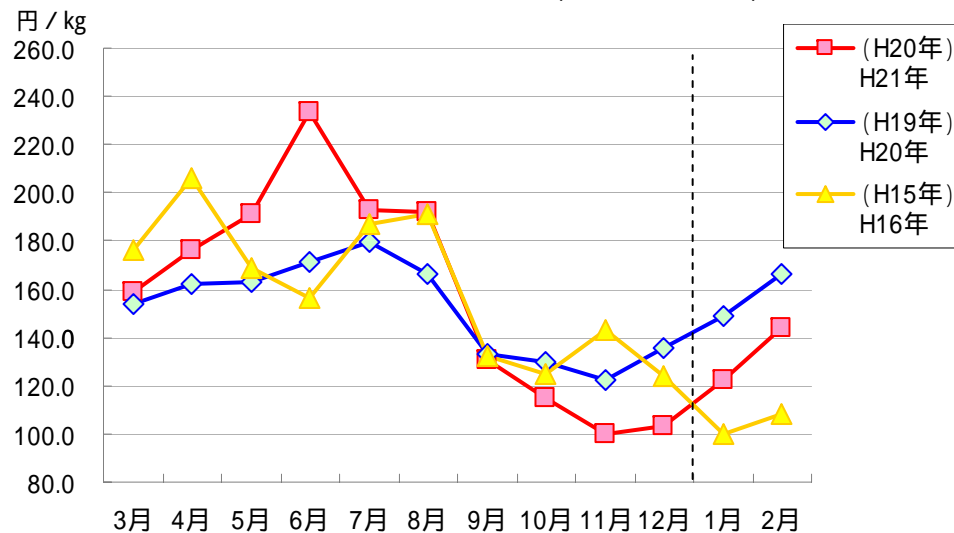
- 注: 1) 本統計は、全国2177漁業地区のうち、漁業地区別の総水揚量が海面漁業生産量のおおむね7割を占めるまでの漁業地区から、対象品目ごとに上場水揚量の上位20漁業地区を選定し、そのうち原則として調査対象品目が5品目以上ある漁業地区を対象として集計したものである。
- 2) 本統計による平成19年の年間水揚量(1682千トン)の総生産量(5639千トン)に対する割合(カバー率)は約30%である。
- 3) 2003年の数値については、現在の区分にないデータ(まかじき等)を除いて算出している。
- 4) 表中の については、平成15年合計値との比較である。

## 2 産地平均卸売価格の動向

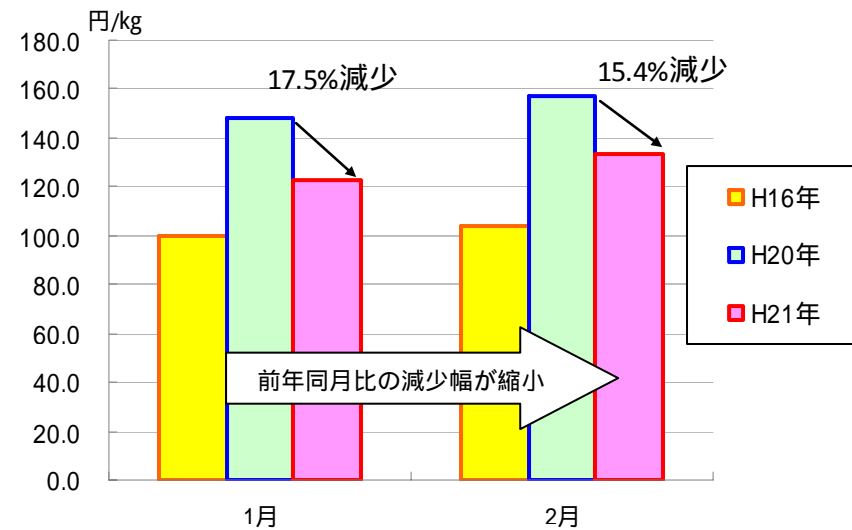
平成21年2月の平均産地卸売価格は144円/kgで、前年同月と比べ13.5%低下した。これは、主に、かたくちいわしについて、えさ需要低下に伴う卸売価格の低下により、水揚金額が大幅に減少したためである。

平成21年の平均(累計平均)の産地卸売価格は2月までで133円/kgで、前年同月と比べ15.4%減少した。これは、累月ベースで、冷凍めばち、冷凍かつお、かたくちいわし等の水揚金額が減少したことによる。

産地平均卸売価格の推移(単月ベース)



1月、2月の産地平均卸売価格(累計平均)の変化



		H20平均	H21.1	H21.2	H21平均
平均産地 卸売価格	価格(円/kg)	159	123	144	133
	前年同月比	8.7%	-17.5%	-13.5%	-15.4%
	H16年同月比	4.1%	22.7%	33.4%	28.2%

出典: 農林水産省「産地水産物流通統計」

- 注: 1) 本統計は、全国2177漁業地区のうち、漁業地区別の総水揚量が海面漁業生産量のおおむね7割を占めるまでの漁業地区から、対象品目ごとに上場水揚量の上位20漁業地区を選定し、そのうち原則として調査対象品目が5品目以上ある漁業地区を対象として集計したものである。
- 2) 本統計による平成19年の年間水揚量(1682千トン)の総生産量(5639千トン)に対する割合(カバー率)は約30%である。
- 3) 2003年の数値については、現在の区分にないデータ(まかじき等)を除いて算出している。
- 4) 表中の「」については、平成15年合計値との比較である。

# (参考)魚種別の累計水揚量・卸売価格

品目	累積の上場水揚量 (t)			累積の平均卸売価格 (1kg当たり円)		
	平成21年 1月~2月	20年 1月~2月	対前年 同期比	平成21年 1月~2月	20年 1月~2月	対前年 同期比
			%			%
まぐろ (生鮮)	11	22	50	5 014	4 972	101
" (冷凍)	37	148	25	1 676	3 556	47
びんなが (生鮮)	4 507	5 022	90	374	356	105
" (冷凍)	152	364	42	332	302	110
めばち (生鮮)	1 042	1 116	93	968	1 249	78
" (冷凍)	2 046	3 305	62	783	780	100
きはだ (生鮮)	866	604	143	765	1 063	72
" (冷凍)	756	1 580	48	362	501	72
かつお (生鮮)	1 474	1 193	124	259	345	75
" (冷凍)	32 409	31 137	104	149	184	81
まいわし	318	479	66	217	172	126
うるめいわし	1 168	1 735	67	79	77	103
かたくちいわし	16 794	22 992	73	34	67	51
まあじ	11 162	11 161	100	209	191	109
むろあじ	5 910	8 799	67	113	92	123
さば類	52 869	35 759	148	74	104	71
さんま	92	224	41	57	61	93
ほっけ	13 817	23 024	60	32	33	97
するめいか (生鮮)	3 867	6 137	63	202	151	134
" (冷凍、遠洋)	2	-	-	197	-	-
" (冷凍、近海)	2 358	2 071	114	237	209	113

資料:農林水産省「産地水産物流通統計」

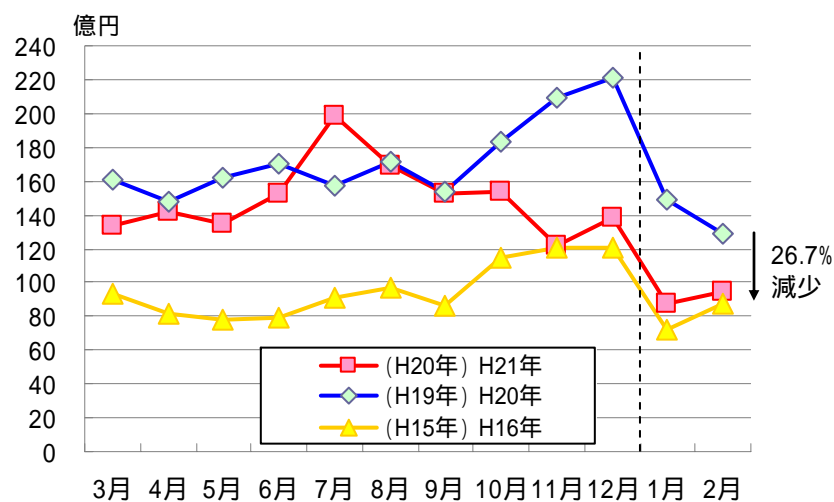
注:1)「まぐろ」とは、くろまぐろ及びみなみまぐろの合計である。

### 3 - 水産物輸出金額(真珠を除く)の動向

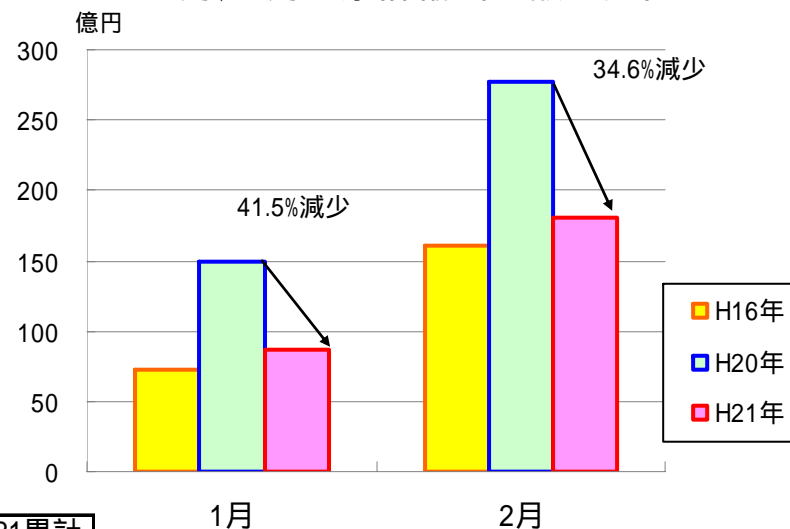
平成21年2月の水産物輸出金額は94億円で、前年同月と比べ26.7%減少した。これは、貝柱調整品(225.5%増)、たい活魚(51.6%増)等で輸出金額が増加したものの、さば(46.5%減)、かつお類(96.7%減)、さけ・ます類(41.4%減)等で輸出金額が大幅に減少したことから、増加分を上回る減少となったためである。

平成21年の水産物の累計輸出金額(真珠除く)は2月までで181億円で、前年同月と比べ34.6%減少した。これは、円高や世界的な不況の影響により累月ベースでかつお類(96.8%減)、ほたて貝(51.6%減)、さば(45.8%減)等の品目で輸出金額が大幅に減少したことによる。

水産物輸出金額の推移(単月ベース)



1月、2月の累計輸出金額の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21累計
輸出	金額(億円)	1,772	87	94	181
	前年同月比	-13.1%	-41.5%	-26.7%	-34.6%
	H16年同月比	59.5%	20.2%	7.0%	13.0%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注:1)表中の については、平成15年合計値との比較である。

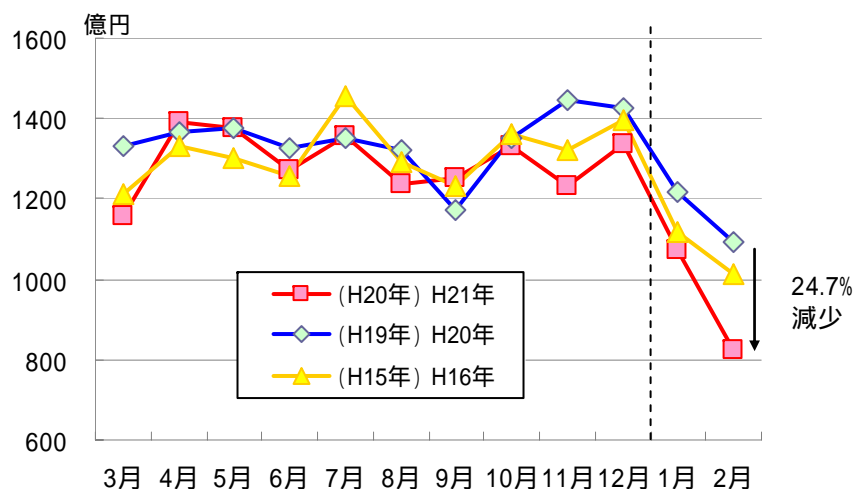
2)毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

### 3 - 水産物輸入金額(真珠を除く)の動向

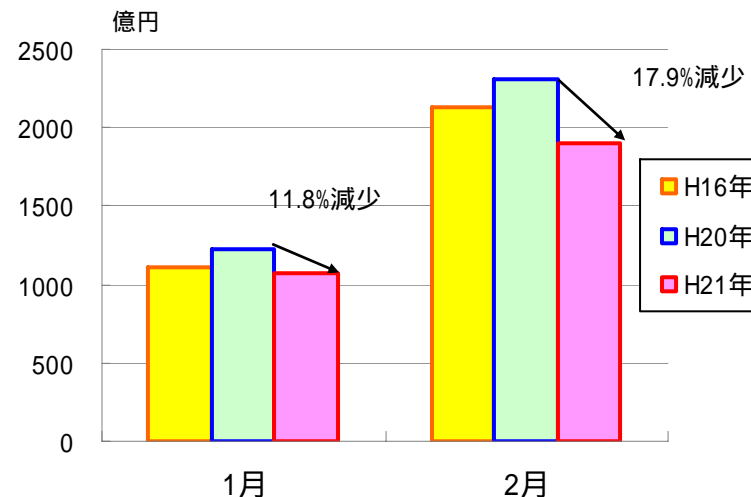
平成21年2月の水産物輸入金額は823億円で、前年同月と比べ24.7%減少した。これは、かに(38.6%増)、さけ・ます(5.9%増)等では輸入金額が増加したものの、まぐろ類(19.5%減)、うなぎ調整品(76.6%減)等の輸入金額が大幅に減少したため、増加分を上回る減少となったためである。

平成21年の水産物の累計輸入金額(真珠除く)は2月までで1,898億円で、前年同月と比べ17.9%減少した。これは、国内需要の低迷や円高により累月ベースでまぐろ類(20.6%減)、えび(22.3%減)、うなぎ調整品(75.2%減)等の輸入金額が大幅に減少したことによる。

水産物輸入金額の推移(単月ベース)



1月、2月の累計輸入金額の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21累計
輸入	金額(億円)	15,249	1,074	823	1,898
	前年同月比	-3.9%	-11.8%	-24.7%	-17.9%
	H16年同月比	-0.8%	-3.7%	-18.6%	-10.8%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注:1)表中の については、平成15年合計値との比較である。

2)毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

# (参考) 品目別の累計輸出入金額

輸出金額(億円)				輸入金額(億円)			
品目	平成21年 1~2月	平成20年 1~2月	前年 同月比	品目	平成21年 1~2月	平成20年 1~2月	前年 同月比
真珠	38.1	55.7	-31.6%	まぐろ類(生・蔵・凍)	332.7	419.0	-20.6%
すけとうだら(生・蔵・凍)	14.8	18.0	-18.1%	さけ・ます(生・蔵・凍)	254.7	260.7	-2.3%
さけ・ます(生・蔵・凍)	12.1	17.7	-31.6%	えび(活・生・蔵・凍)	220.8	284.2	-22.3%
乾燥なまこ(調製)	12.0	16.1	-25.5%	えび(調製)	77.8	88.9	-12.5%
貝柱(調製)	10.7	18.3	-41.7%	かに(活・生・蔵・凍)	63.9	50.8	25.7%
まぐろ類(生・蔵・凍)	10.0	13.2	-24.5%	いか(活・生・蔵・凍もんごう含む)	45.0	62.2	-27.5%
さば(冷蔵・冷凍)	9.9	18.2	-45.8%	さば(生・蔵・凍)	36.1	51.8	-30.2%
ぶり(生・蔵・凍)	8.9	5.4	63.5%	かに(調製)	36.0	37.0	-2.5%
ホタテ貝(生・蔵・凍・塩・乾)	8.1	16.7	-51.6%	魚粉	32.8	28.7	14.4%
練り製品(魚肉ソーセージ等)	8.0	10.4	-22.6%	たこ(活・生・蔵・凍)	31.0	56.3	-45.0%

資料：農林水産省「農林水産物輸出入情報」、財務省「貿易統計」

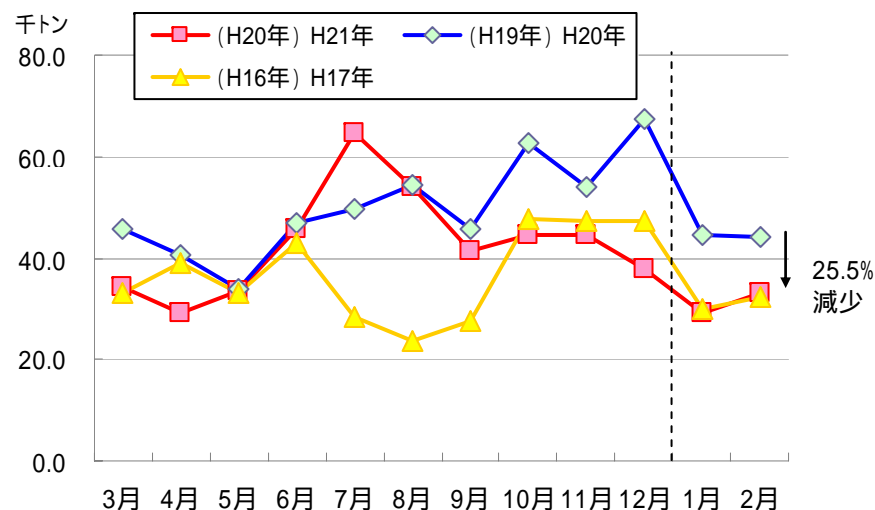
注：1) 本表における数値は、「農林水産物輸出入情報」(以下「輸出入情報」という)の集計区分による数値を基に水産庁漁政部企画課で集計したものである。

## 4 - 水産物輸出数量の動向

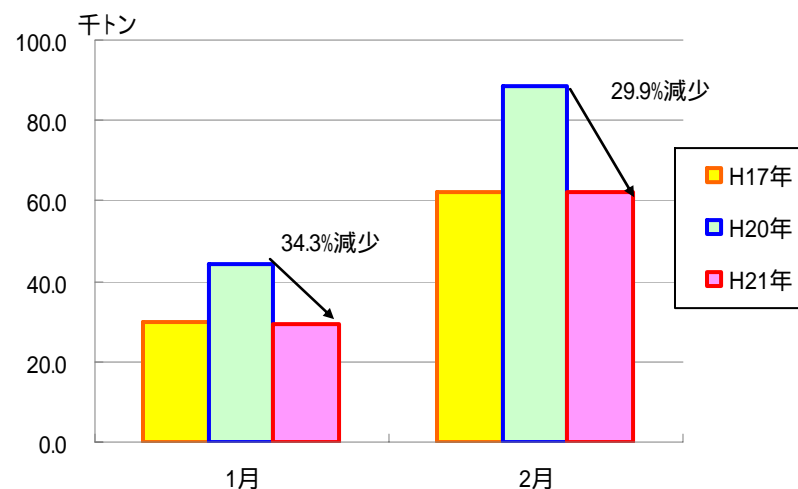
平成21年2月の水産物輸出量は33.0千トで、前年同月と比べ25.5%減少した。これは、すけとうだら(68.6%増)等の輸出量が増加したものの、さば(36.6%減)、かつお類(95.1%減)等の輸出量が大幅に減少したことから増加分を上回る減少となったためである。

平成21年の水産物の累計輸出量は2月までで62.2千トで、前年同月と比べ29.9%減少した。これは、円高や世界的な経済不況の影響により、かつお類(93.6%減)、さば(34.0%減)、いか(65.4%減)等の品目で輸出量が前年同月を大きく下回ったことによる。

水産物輸出数量の推移



1月、2月の累計水産物輸出量の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21累計
輸出	数量(千トン)	518.4	29.2	33.0	62.2
	前年同月比	-15.3%	-34.3%	-25.5%	-29.9%
	H17年同月比	22.2%	-2.3%	1.9%	-0.1%

資料: 農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注: 1) 表中の については、平成16年合計値との比較である。

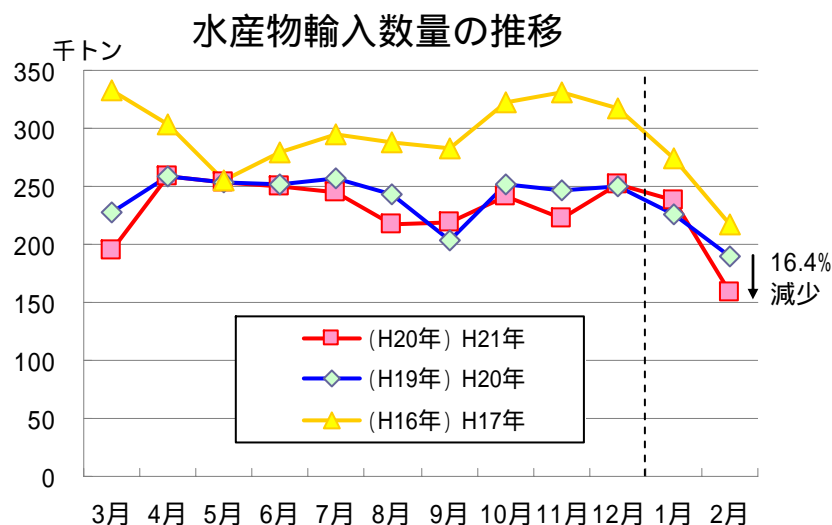
2) 毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。



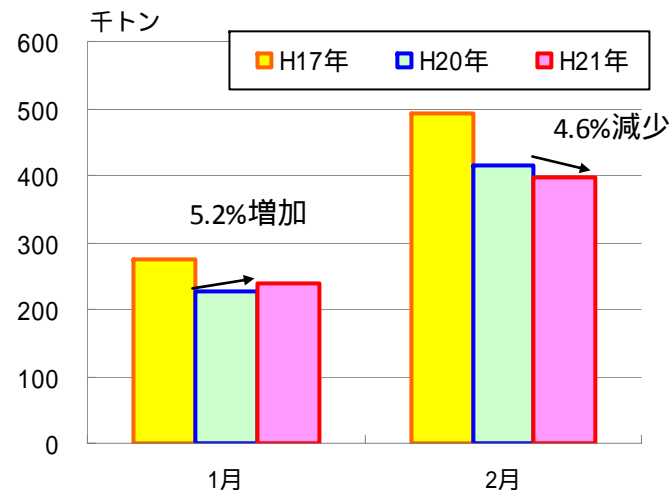
## 4 - 水産物輸入数量の動向

平成21年2月の水産物輸入量は159千ト、前年同月と比べ16.4%減少した。これは、かつお類(400.4%増)等の品目で輸入量が増加したものの、まぐろ類(16.6%減)、さば(75.7%減)、魚油(44.5%減)等の輸入量が大幅に減少したことから、増加分を上回る減少となったためである。

平成21年の水産物の累計輸入量は2月までで397千ト、前年同月と比べ4.6%減少した。これは、1月に輸入量が大幅に増加した魚粉(29.2%増)、魚油(125.7%増)、円高や国際価格の低下に影響を受けたかつお類(291.6%増)等の品目で輸入量が前年同月を上回るものの、さば(34.4%減)、さけ・ます類(10.0%減)、いか(33.0%減)等の品目で輸入量が大幅に減少したことから、増加分を上回る減少となったためである。



1月、2月の累計水産物輸入量の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21計
輸入	数量(千トン)	2,768	238	159	397
	前年同月比	-4.0%	5.2%	-16.4%	-4.6%
	H17年同月比	-20.6%	-13.3%	-27.1%	-19.4%

資料: 農林水産省「農林水産物輸出入情報」

- 注: 1) 表中の については、平成16年合計値との比較である。  
 2) 毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

# (参考) 品目別の累計輸出入数量

輸出量(千トン)				輸入量(千トン)			
品目	平成21年 1~2月	平成20年 1~2月	前年 同月比	品目	平成21年 1~2月	平成20年 1~2月	前年 同月比
さんま(冷凍)	13.4	12.9	3.8%	さけ・ます(生・蔵・凍)	50.1	55.7	-10.0%
さば(冷蔵・冷凍)	11.4	17.3	-34.0%	魚粉	38.7	29.9	29.2%
すけとうだら(生・蔵・凍)	10.1	10.2	-1.1%	まぐろ類(生・蔵・凍)	33.5	37.6	-10.9%
さけ・ます(生・蔵・凍)	5.5	8.9	-38.2%	えび(活・生・蔵・凍)	26.9	30.4	-11.5%
まぐろ類(生・蔵・凍)	2.6	3.6	-28.8%	あじ(冷凍)	18.2	11.9	52.7%
いか(生・蔵・凍)	2.6	7.4	-65.4%	魚油 海獣油	15.6	6.9	125.7%
たい(活)	1.3	0.7	90.5%	さば(生・蔵・凍)	13.6	20.8	-34.4%
練り製品(魚肉ソーセージ等)	1.0	1.4	-25.5%	かつお類(生・蔵・凍)	11.2	2.9	291.6%
さめ(生・蔵・凍)	1.0	0.7	36.6%	えび(調製)	10.1	10.7	-5.0%
ほや(活・生・蔵)	0.7	0.9	-27.1%	いか(活・生・蔵・凍もんごう含む)	8.9	13.2	-33.0%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」、財務省「貿易統計」

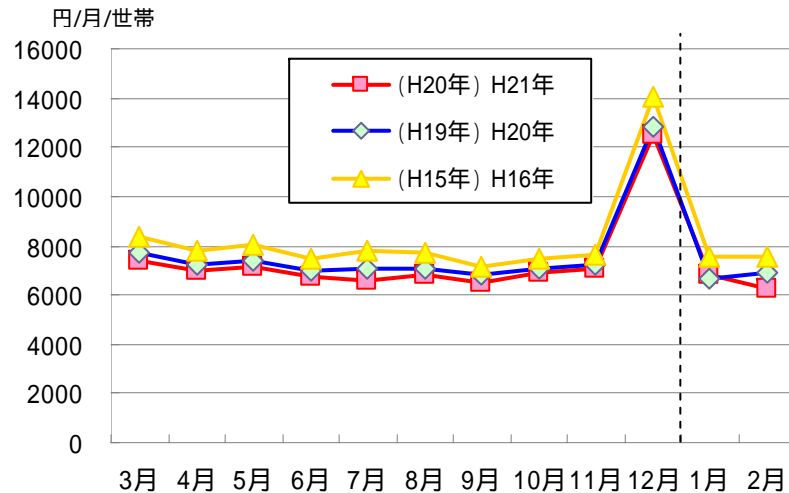
注:1)本表における数値は、「農林水産物輸出入情報」(以下「輸出入情報」という)の集計区分による数値を基に水産庁漁政部企画課で集計したものである。

## 5 魚介類の家計消費の動向

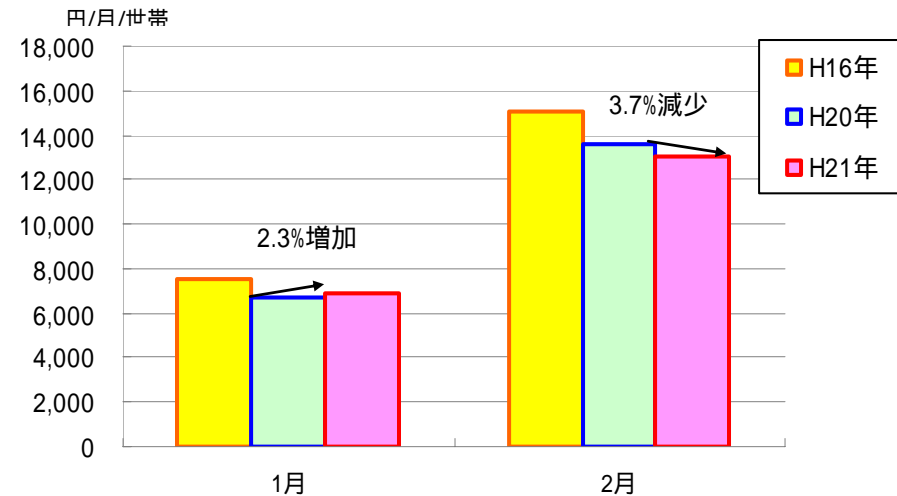
平成21年2月の魚介類1世帯1月当たりの支出金額は6,230円/月/世帯で、前年同月と比べ9.6%減少した。これは、単月ベースでまぐろ(15.7%減)、ぶり(16.5%減)、魚肉練製品(7.7%減)等の支出金額が減少したことによる。

平成21年の魚介類1世帯1月当たりの累計支出金額は2月までで13,081円/月/世帯で、前年同月と比べ3.7%減少した。前年同月と比べ累計支出金額が少ないのは、鮮魚でのまぐろ(12.5%減)、塩干魚介のたらこ(14.9%減)等の品目で支出金額が減少したことによる。

魚介類1世帯1月当たり支出金額の推移(単月ベース)



1月、2月の魚介類1世帯1月当たり支出金額の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21累計
魚介類 支出金額	金額(円/月/世帯)	88,211	6,851	6,230	13,081
	前年同月比	-3.5%	2.3%	-9.6%	-3.7%
	H16同月比	-10.4%	-9.2%	-17.5%	-13.3%

資料:総務省「家計調査報告」

注:1)表中の については、平成15年合計値との比較である。

2)本統計は、全国の農林漁家を除く二人以上の8076世帯を対象とするサンプル調査の結果を集計したものである。

3)魚介類は、生鮮魚介21品目、塩干魚介7品目、魚肉練製品4品目および他の魚介加工品5品目の合計である。

4)毎月初旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

# (参考) 品目別の1世帯当たり支出金額

品目	平成21年 2月	平成20年 2月	対前年 同月比	平成21年 1~2月	平成20年 1~2月	対前年 同月比	品目	平成21年 2月	平成20年 2月	対前年 同月比	平成21年 1~2月	平成20年 1~2月	対前年 同月比
鮮魚	3,289	3,650	-9.9%	7,030	7,282	-3.5%	ほたて貝	117	139	-15.8%	243	244	-0.4%
まぐろ	397	471	-15.7%	825	943	-12.5%	他の貝	37	41	-9.8%	69	80	-13.8%
あじ	103	114	-9.6%	198	218	-9.2%	塩干魚介	1,129	1,275	-11.5%	2,311	2,476	-6.7%
いわし	58	64	-9.4%	99	100	-1.0%	塩さけ	139	158	-12.0%	301	317	-5.0%
かつお	87	77	13.0%	141	129	9.3%	たらこ	191	234	-18.4%	383	450	-14.9%
かれい	147	165	-10.9%	275	302	-8.9%	しらす干し	103	113	-8.8%	205	218	-6.0%
さけ	300	319	-6.0%	575	589	-2.4%	干しあじ	92	105	-12.4%	177	201	-11.9%
さば	91	108	-15.7%	192	213	-9.9%	干しいわし	50	62	-19.4%	92	104	-11.5%
さんま	52	49	6.1%	102	89	14.6%	煮干し	32	33	-3.0%	62	67	-7.5%
たい	85	97	-12.4%	181	191	-5.2%	他の塩干魚介	522	570	-8.4%	1,091	1,120	-2.6%
ぶり	293	351	-16.5%	658	702	-6.3%	魚肉練製品	694	752	-7.7%	1,438	1,456	-1.2%
いか	193	233	-17.2%	374	413	-9.4%	揚げかまぼこ	227	240	-5.4%	471	470	0.2%
たこ	86	95	-9.5%	170	183	-7.1%	ちくわ	153	148	3.4%	304	284	7.0%
えび	244	243	0.4%	495	476	4.0%	かまぼこ	180	222	-18.9%	386	422	-8.5%
かに	105	124	-15.3%	340	351	-3.1%	他の魚肉練製品	133	141	-5.7%	276	279	-1.1%
他の鮮魚	676	758	-10.8%	1,459	1,509	-3.3%	他の魚介加工品	695	733	-5.2%	1,421	1,447	-1.8%
さしみ盛合わせ	372	382	-2.6%	941	874	7.7%	かつお節・削り節	67	73	-8.2%	143	146	-2.1%
貝類	422	478	-11.7%	880	927	-5.1%	魚介の漬物	177	203	-12.8%	380	407	-6.6%
あさり	75	80	-6.3%	130	137	-5.1%	魚介のつくだ煮	77	74	4.1%	148	150	-1.3%
しじみ	29	34	-14.7%	61	71	-14.1%	魚介の缶詰	180	180	0.0%	357	350	2.0%
かき	165	183	-9.8%	377	395	-4.6%	他の魚介加工品の その他	194	203	-4.4%	394	394	0.0%

資料:総務省「家計調査報告」

本資料は、各々の出典に基づいて水産庁漁政部企画課で作成したものであり、本資料中における平成19年及び平成20年合計値は速報値である。

次回(平成21年3月版)の発行は、平成21年5月中旬の予定であるが、出典の公表時期などにより前後することがある。

お問い合わせ先

水産庁 漁政部 企画課 動向分析班  
担当 長尾

電話:03-3502-8111(内線6578)

直通:03-6744-2344